

2026(令和8)年度 沖縄国際大学一般選抜試験問題

【選択科目：倫理】

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 志願票及び受験票に記入された科目を解答すること。
3. 志願票及び受験票に記入された以外の選択科目を解答した場合は、無効とする。
4. 筆記用具は、鉛筆（HB）または、0.5ミリのシャープペンシル（HB）に限る。
5. 問題の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
6. 問題冊子の余白等は適宜利用してもよい。
7. 試験終了後、解答用紙のみを提出すること。問題冊子は持ち帰ること。

2026(令和8)年度 沖縄国際大学一般選抜試験問題

【倫理】

※ 解答はすべて解答用紙に記入すること。

I. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

コペルニクスの (①) に端を発する科学革命は、(②) 教会を後ろ盾としてきたスコラ哲学の世界観を解体し、それとともに、新たな学問的方法を探究する哲学の流れが生まれた。フランシス・ベーコンを祖とするイギリス経験論は、**A** にはじまる大陸合理論とならぶそうした流れの一つである。

ベーコンによれば、新しい時代の学問は、自然を支配することによって、自然を人間のために活用することを目指さなければならない。「知は (③) なり」という彼の言葉が意味しているのは、自然法則を知ることによって自然を支配できるということである。自然法則を知るには、まずは a先入観を取り除き自然をありのままに観察しなければならない。ベーコンの提唱する [**b**] とは、そうした経験を重ねることで個別的な事実を多く集め、それらに共通する一般的法則を見つけ出す方法のことである。

ベーコンの経験論は、その後、ロック、**B**、ヒュームによって受け継がれ、それぞれにおいて独自の展開を遂げた。ロックは、合理論者に反対して (④) 観念を否定し、人間の心は (⑤) であり、感覚と反省という二つの経験によってさまざまな観念がそこに刻まれていくのだと説いた。

次いで **B** は、「存在するとは知覚されることである」と主張し、物体は心によって知覚されるかぎりでのみ存在するとした。これは、知覚する心のみが実体として存在するという立場でもある。

最後にヒュームは、経験論の立場をさらに徹底することにより、人間の認識について (⑥) 的な立場に到達した。彼によれば、c疑いえない経験は、心に現れる知覚だけであって、実体としての物体だけでなく、実体的な自我としての心さえも虚構であり存在しない。また、自然の客観的秩序と考えられている因果関係も、観念同士を結びつける心の習慣から生じた虚構である。こうした彼の立場は、イギリス経験論の枠を超えて、のちにドイツの哲学者の **C** を「独断のまどろみ」から覚まさせ、**C** の批判哲学が生まれるきっかけともなった。

問1 文章中の(①)～(⑥)に入る最も適切な語句を、以下の(ア)～(コ)から選びなさい。
(各1点)

(ア) 力 (イ) 天動説 (ウ) 懐疑論 (エ) 行為 (オ) カトリック
(カ) 実体 (キ) 普遍主義 (ク) 生得 (ケ) 地動説 (コ) 白紙

問2 文章中の に入る最も適切な人名をそれぞれ答えなさい。(各3点)

問3 ベーコンは下線部 a で言われているような先入観をイドラと呼び、4つに分類した。そのうちの「劇場のイドラ」について、60字以内で説明しなさい。(6点)

問4 [b] に入る最も適切な語句を漢字三文字で答えなさい。(3点)

問5 下線部 c のような考え方に基づいて、ヒュームは心を何と呼んだか。四文字で答えなさい。(3点)

Ⅱ. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

18世紀後半の（①）で始まった産業革命では、自由競争に基づく資本主義が急速に発展した。そこでは、各人が自由に自分の利益を追求すれば、あたかも神の「**A**」が働いているかのように、結果的に社会全体の利益が増大していく、といった考え方が受け入れられた。これはアダム＝スミスが著書『**B**』でとった立場である。この考え方によれば、a国家の役割は、個人や企業が自由に利益を追求できるような環境を整えることだけに限られる。自由競争によって、社会全体におのずから秩序が生まれ、富が蓄積されていくのである。

しかし、実際には、資本主義の進展とともに様々な社会問題が生まれ、私的な利益の追求が公共の利益に合致するとは限らないことがはっきりしてきた。そこで現れたのが、功利主義の思想家である。

そのひとりベンサムによれば、人間にとって幸福とは、快楽の増加と苦痛の減少から成り立っているものである。それゆえ人間は、古い宗教や慣習のしがらみを断ち切って、b最も多くの快楽をもたらす、最も多くの苦痛を取り除くような法や倫理を形づくる社会への改革をめざすべきであり、そのような行為を常に選択すべきなのである。ただし、快楽を最大化するためには、快楽を量に換算して計算する必要がある。ベンサムは、快楽の強度・持続性・確実性などの七つの基準を立て、それを尺度にすれば快楽計算が可能だと考えた。そこでは各人は等しく一人として計算されることになり、身分の違いによる差別は除外される。ここにベンサムの（②）の精神をみてとることができる。

このベンサムの考えをさらに発展させたのがミルである。ミルは、ベンサムから大きな影響を受けながらも、幸福は量として計算できるものではなく、質的に異なっていると主張した。なぜならc量としては表せない精神的な幸福という状態があると考えたからである。

彼によれば、d人は内的な良心に動かされ、他人を不幸なままにしておくことに心の痛みを感じる。そこでは自分の幸福だけではなく他者の幸福も願うことが、より上位の快楽として求められている。こうしてミルは快楽計算を退けることにより、功利主義をより利他的な方向へと修正した。彼によれば、「自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」という（③）の教えこそが、功利主義道徳の理想なのである。

さらにミルは、人間の個性の発展のためには種々の自由が不可欠であることを論じ、その制約としてe他者危害の原則を主張した。そこには各人が個性を自由に伸ばすことが、結果的には社会全体の幸福の増進につながる、という信念があった。

問1 文章中の (①) に入る国名として最も適切なものを次の(ア)~(オ)の中から一つ選び記号で答えなさい。(1点)

- (ア) ドイツ
- (イ) フランス
- (ウ) イタリア
- (エ) イギリス
- (オ) アメリカ

問2 文章中の (②) に入る語句として最も適切なものを次の(ア)~(オ)の中から一つ選び記号で答えなさい。(1点)

- (ア) 社会主義
- (イ) 法治主義
- (ウ) 禁欲主義
- (エ) 民主主義
- (オ) 差別主義

問3 文章中の (③) に入る人名として最も適切なものを次の(ア)~(オ)の中から一つ選び記号で答えなさい。(1点)

- (ア) モーセ
- (イ) イエス
- (ウ) パウロ
- (エ) アウグスティヌス
- (オ) トマス＝アキナス

問4 文章中の

A

 に入る語句を漢字と平仮名を交えて五文字で記入しなさい。(3点)

問5 文章中の

B

 に入る書名を漢字三文字で記入しなさい。(3点)

問6 下線部 a が示す考え方として最も適切なものを次の(ア)~(オ)の中から一つ選び記号で答えなさい。(2点)

- (ア) モラル・センス
- (イ) フェア・プレイ
- (ウ) レッセ・フェール
- (エ) エラン・ヴィタール
- (オ) フロンティア・スピリット

問7 下線部 b が示す功利の原理をベンサムは特に何と表現したか。漢字と平仮名を交えて九文字で記入しなさい。(3点)

問8 下線部 c の主張を象徴するミルの言葉を次の(ア)~(エ)の中から一つ選び記号で答えなさい。(2点)

(ア) 「人間は自由なものとして生まれた。しかもいたるところで鎖につながれている。自分が他人の主人であると思っているようなものも、実はその人々以上に奴隷なのだ。」

(イ) 「青年ほど、深い孤独のうちに、触れあいと理解を渴望している人間はいない。」

(ウ) 「満足した豚よりも、不満足な人間である方がよく、満足した愚か者であるよりも不満足なソクラテスの方がよい。」

(エ) 「汝の意志の格率が、つねに同時に普遍的な立法の原理として妥当しうるように行為せよ。」

問9 下線部 d が示すような良心の苦痛を、ミルはどのように表現したか。適切な言葉を答えなさい(3点)

問10 ベンサムの功利主義を量的功利主義と呼ぶとすれば、ミルの功利主義は何と表現しうるか。「功利主義」の語を含めて漢字六文字で記入しなさい。(3点)

問11 下線部 e 「他者危害の原則」の内容を 60 字以内で説明しなさい。(5点)

Ⅲ. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

孔子は、中国、春秋時代の学者・思想家で、(①) 教の祖である。魯の国(現在の山東省)に生まれた。幼いときに父と死別した孔子は、貧窮の中で苦学した。青年時代は、下級の役人として働き、次第に教養を身につけ、やがて弟子も現れた。52歳のとき、魯の国の官吏となり、その知識と実力を認められるようになった。公族たちの横暴に義憤をいだいた孔子は、政治改革をはかるが失敗し、しばらくして魯の国を去った。以後、14年間弟子とともに、諸国を遊説し、理想の政治について説いたが、諸侯には受け入れられなかった。その後、魯の国に帰り、弟子の教育に専念した。

孔子は人と人とを結ぶ親愛の心を(②)と呼び、それが他人を尊重する態度や行動となってあらわれたものが(③)であると考えた。また孔子は、家族の愛を土台にして(②)が育つと考え、親への愛を(④)、年長者や兄への愛を(⑤)とよび、重要視していた。そして「権力にもとづく法治国家を否定し、(②)や(③)を中心とする(⑥)主義による統治をすべきだと説いた。

孔子の死後、弟子たちが編集した孔子と弟子の言行録が(⑦)である。

問1 文章中の(①)について、最も適切に当てはまる言葉は何か。漢字一文字で記入し答えなさい。(3点)

問2 文章中の(②)について、最も適切に当てはまる言葉は何か。漢字一文字で記入し答えなさい。(3点)

問3 文章中の(③)について、最も適切に当てはまる言葉は何か。漢字一文字で記入し答えなさい。(3点)

問4 孔子は、文章中の(②)および(③)を身につけ、高い人格を完成させることが人生の目標であると説いた。孔子はそのような理想的な人物のことを何と名づけたか。最も適切に当てはまる言葉を漢字二文字で記入し答えなさい。(3点)

問5 文章中の(④)について、最も適切に当てはまる言葉は何か。漢字一文字で記入し答えなさい。(3点)

問6 文章中の(⑤)について、最も適切に当てはまる言葉は何か。漢字一文字で記入し答えなさい。(3点)

問7 文章中の(⑥)について、最も適切に当てはまる言葉は何か。漢字二文字で記入し答えなさい。(3点)

問8 文章中の (⑦) について、最も適切に当てはまる作品は何か。漢字二文字で記入し答えなさい。(3点)

問9 下線部 a の権力にもとづく法治国家について、代表的な思想は、法家である。法家の思想家たちは、法律や刑罰に基づいて、厳しく人民を取り締まることによってこそ、国家を良く統治できると説いた。荀子の性悪説を継承してその法家の思想を完成させた、最も代表的な思想家は誰か。漢字三文字で記入し答えなさい。(3点)

IV. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(1) 発展途上国では人々の生活水準を高めるために経済活動が活発になっているが、その一方で、森林伐採や温室効果ガスの増加など、環境への負荷が深刻化している。こうした状況においては、現在を生きる人々の暮らしだけでなく、将来の世代の幸福にも配慮することが求められる。そのためには、(A) という考え方に基づいた取り組みが必要である。この考え方は、1987年に環境と開発に関する世界委員会の報告書『われら共有の未来』のなかで提唱されて以来、環境問題への取り組みの国際的なスローガンになった。

問1 (A) に当てはまる語句を答えなさい。(2点)

問2 私たちが暮らす日本においても、(A) の考え方は重要である。あなた自身の日常生活の中で、(A) を意識して行動できることは何か。具体的な行動を一つ挙げ、その理由も含めて、80字以内で簡潔に説明しなさい。(5点)

(2) インターネットやSNSの普及によって、私たちは大量の情報に日々触れるようになった。その一方で、誤った情報や意図的に操作された情報も多く見られるようになっている。こうした中で、正確で信頼できる情報を見分け、適切に活用するためには、(B) という能力が必要とされている。

問1 (B) に当てはまる語句を答えなさい。(2点)

問2 あなたが日常生活で、必要と考える (B) を一つ挙げなさい。また、それがなぜ大切なのか、理由も含めて80字以内で簡潔に説明しなさい。(5点)

V. 現代の日本では少子化が深刻な問題となっている。子どもの数が減少していくことは、将来の日本社会全体にさまざまな影響をもたらすと考えられる。少子化が進むことで、どのような問題が生じると考えられるか。あなたの考えを80字以内で簡潔に説明しなさい。(5点)

